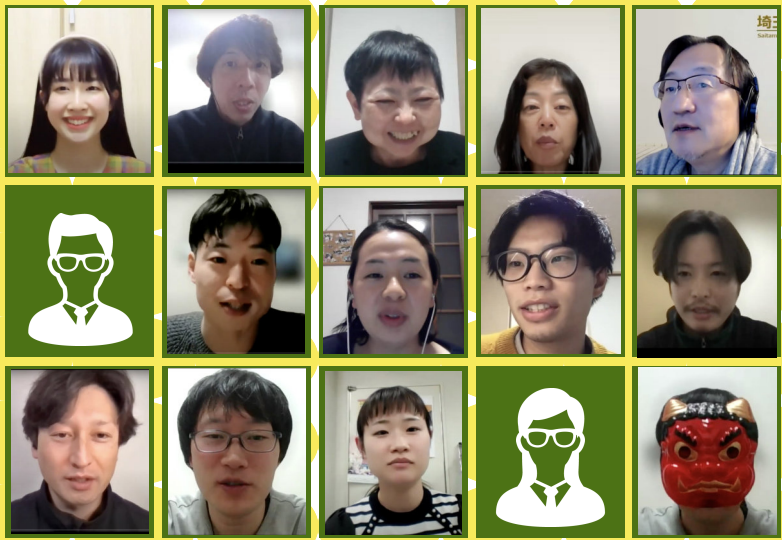


歴史

シリーズ
連載スタート

埼玉県内の精神科病院の
歴史から学ぼう
歴史を探ろう

今回は…
狭山ヶ丘病院と
川越同仁会病院です



▲今回のここらOT室の当日の様子。オンラインのみで開催しました。埼玉県内の作業療法士だけでなく、当事者の方や県外の作業療法士さんにもご参加いただきました。今回から始まった病院の歴史シリーズ！宇田会長も「これはここだけの発表では勿体無い！全国の人にも聴いてもらいたい。」と話す程の充実した内容でした。次回の発表にも期待が膨らみます！

活動報告

令和6年2月3日
ここらOT室開催

ここら

2024 春号
新聞

ここらOT室とは？

誰でも気軽に参加することができる精神科作業療法について語り合う双方向型情報バラエティー番組です！年間5回、オンラインにて開催しています。今回は令和6年4月6日(土)19:30~を予定しています。

参加できる人は？

作業療法士は勿論のこと理学療法士・言語聴覚士・看護師・介護支援専門員・作業療法学生・当事者の方等誰でも無料で参加できる研修会です！飲食もOKです。どうぞお気軽にご参加下さい。

報告 狭山ヶ丘病院の歴史

狭山ヶ丘病院は、一九六三年、初代院長と院長夫人が、都立松沢病院と武蔵療養所の協力を得て開業しました。病院のコンセプトは「のどかな」「家族的な」。掃除、配膳などは決まった患者が中心となって自然に行なわれ、外出許可のあった患者は、敷地内にある院長宅へ自由に入出入りし、お茶を飲むなどして過ごしました。幼少期の二代目院長は病棟で患者と本を読む運動会では足の速さを競うなどしたとのこと。埼玉県内の退院促進事業では、県西部地区代表として、多くの長期入院者の退院実績を作りました。退院後一年間は「同窓会」、その後は「OB会」と、患者主体のコミュニティがあり、それは現在のデイケアに発展。また、退院後に病状が悪化するケースがみられたことから訪問看護が開設され、現在に至ります。三代目となる現院長は芝生に腰を下ろして患者と談笑し、二代目院長はオリジナルの落語をプログラムで披露されるなど、開業当時のアットホームな雰囲気は今も引き継がれています。当院作業療法室の歴史は数十年ですが、人と人としてのつながりを大切にしているアットホームな病院の一角を担ってきたと思います。

報告 川越同仁会病院の歴史

川越同仁会病院は、1933年(昭和8年)に開設しました。後に川越市長となる橋本定五郎氏(外科医)が、埼玉県西南部に精神科の専門病院のないことを憂い、株式会社を組織し病院を設立します。病院運営は順調な滑り出しを見せますが、戦災により多くの苦難を経験します。戦後、臺弘氏のもとで働いていた看護師らの尽力により、病棟の状況が改善。作業療法士が資格化される前から、作業療法助手を雇用するなど先進的な取り組みがなされました。今回の発表を通して、変わりゆく時代の中で、よりよい医療を提供しようと模索してきた諸先輩方の心意気を知ることができました。精神科病院はちよつとちよつといものになってきたと思つし、今後もちよつとちよつとつよくしていけるよう頑張りたいです。



4月6日 次回予告 歴史シリーズ第二弾 埼玉県内の精神科病院の歴史を探ろう

ここら委員が所属している施設を中心に、施設の歴史を発表していくシリーズ。埼玉県内の精神科病院の歴史を知って、知識を深めることが狙いです。今回は、狭山ヶ丘病院と川越同仁会病院の発表でした。4月は埼玉県立精神医療センター・埼玉精神神経センターを予定しています。6月は丸木記念福祉メディアカルセンター及び埼玉医科大学グループを予定していますので、是非ともご参加ください。また3月9日(下記内容参照)に歴史が学べる研修会を対面式で行いますので、併せてご参加ください！これであなとも歴史マスターです！



▲初代院長が撮影・切り貼りしてパノラマにした病院の写真

次回案内
第15回ここらOT室
令和6年4月3日土曜日
19時30分からZOOMにて開催。
お申し込み及び詳細は埼玉県作業療法士会のホームページをご覧ください。

次回のここらOT室
日時：令和6年3月9日土曜日
13時30分講義開始予定
場所：東京家政大学 狭山キャンパス
▲こちらの二次元コードからお申込み下さい

精神医学の歴史から何を学ぶか
2024.3.9 sat
13:15開演 19:30 終了
東京家政大学 狭山キャンパス
6号館 第14階演義室
参加費：無料
お申し込み：お申し込みは不要
お申し込み：お申し込みは不要
お申し込み：お申し込みは不要

精神医学の歴史から何を学ぶか
― 過去を紐解き、未来へのヒントを得る ―
対面研修会開催決定!!

研修会案内
埼玉県作業療法士会 official SNS
Facebook
Instagram @ot_saitama
X(旧:Twitter) @sai_otCE

お知らせ